

リアルチャンピオンシップ選抜 Shizuoka Final

第7回報徳杯空手道選手権大会

試合規約

- 1 勝敗
 - ・試合時間内に一本または技あり二つを宣せられた選手を勝ちとする。
 - ・試合時間内に反則を重ね、減点2となった選手は失格負けとする。
 - ・試合時間終了までに上記の決着がつかなかった場合、審判員は判定を行い、過半数以上の勝ち判定を受けた選手の勝ちとする。
- 2 一本勝ち
 - ・反則部位以外に技が的確に決まり、相手選手をダウンさせるか、戦意を喪失させた場合。
 - ・「技あり2本」を取った時
- 3 有効技
 - ・反則部位以外への手技、足技による攻撃。
(ガードをしていてもダメージがあった場合は技あり)
(飛び蹴りや胴回し回転蹴り等自身が掛けた技で自身がダメージを負って試合中断した場合、相手選手の技あり)
- 4 反則技
 - ・手技による首から上への攻撃
 - ・金的への攻撃
 - ・掌底及び正拳での押し
 - ・背後からの攻撃及び倒れた相手への攻撃
 - ・頭、体を密着しての攻撃
 - ・掴み、抱え込み、引っかけ、投げてからの攻撃
 - ・上段ヒザ蹴り(初・中級・幼年～小学生)
 - ・主審の「止め」の後の攻撃
- 5 失格
 - ・試合中審判に従わない場合
 - ・試合時刻に遅れた場合
 - ・コート入場から判定が決まるまでの間に嘔吐した場合
 - ・注意4となった場合
 - ・道着の中に携帯電話、マスク等不要なものを入れての試合
- 5 反則カウント
 - ・警告→注意1→注意2=減点1→注意3(最終警告)→注意4=減点2(失格)
- 6 その他
 - ・判定に対するクレームは一切認めない。
- 7 禁止事項
 - ・頭髪の極端な染色(金髪・茶髪等)、ピアス、ミサンガ等の着用
 - ・試合後のガッツポーズ、雄叫び等の行為
- 8 判定

判定優先順位	判定基準
一本>技あり>ダメージ>有効打>攻撃数>積極性	

※マスト判定は、注意差(1)は優勢の方の勝ち、互角の場合は注意(1)の負けとなる。

9 試合時間

クラス	本戦	延長戦マストシステム
幼年	1分	1分
小学生・中学生初中級	1分	1分
小学生選抜	1分30秒	1分
中学生選抜	1分30秒	1分
一般	2分	2分